

1 課題を抱える業務の内容

東京都水道局では、2030年代までに全戸導入を目指し、令和6年度までに約13万個のスマートメータを先行導入し、導入効果を定量的に検証します。

検証項目の一つとして、スマートメータから得られるビッグデータの活用について、お客さまサービスの向上や水道事業への活用について、具体的に検討を進めています。

2 課題の詳細

個人情報、仮名加工情報、匿名加工情報の3つの情報種別を用いて、それぞれどのようなデータ活用方法があるのか、また、それらのデータを水道事業へどのように活用できるのか、具体的な活用方法について広く提案を募集します。

3 こんな技術を求めています！

スマートメータから得られるビッグデータを利用し、特に、施設維持管理の効率化面での活用、例えば給水所などのポンプ運転の最適化により、環境負荷低減に繋がるような技術